



# 生物多様性の保全による 自然の恵みの享受と継承

自然共生の智慧の再興と発展による自然共生社会づくりを世界に提案するとともに、我が国の生物多様性の総合評価等を行い、将来像を国民に提示し、自然の恵み豊かな美しい国を将来世代に引き継ぎます。

## 自然共生の智慧の再興・発展



美しい自然：日本を代表する国立公園の大自然の風景から里地里山が織りなす日本人の原風景まで  
自然体験の推進・積極的な情報発信・受け入れ態勢の整備・アジア諸国に対する技術支援等

「美しい日本の自然」の再発見／アジア・海外への発信

### 次期世界目標の設定に向けたリーダーシップの発揮

○2010年目標の達成は困難  
GBO (Global Biodiversity Outlook (2006年))によれば、目標達成は厳しい状況

※2010年目標：2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる  
※GBO：生物多様性条約事務局が世界の生物多様性の状況を15の指標を用いて評価したもの



・2010年の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の日本招致を契機とし、先駆的な取組を地球的な視野のもとに行うとともに、COP10で採択される次期世界目標の設定に向けた議論をリード

・我が国の生物多様性総合評価(Japan Biodiversity Outlook: JBO)と生態系総合監視の実施

・サンゴ礁保全や渡り鳥保全などの国際的ネットワークの構築

・生物多様性の重要性について国民の理解を得るための「いきものにぎわいプロジェクト」の展開



### 百年先を見通した我が国の生物多様性の保全

- ・第3次生物多様性国家戦略において、100年先の生物多様性の将来像を「ランドデザイン」(共通のビジョン)として提示
- ・優れた自然環境をつなぐ生態系ネットワーク構想の推進
- ・未来に引き継ぐ重要な里地里山、新たな活用方策(バイオマス・環境教育など)の検討、多様な主体による新たなコモンズ(共有の資源)の構築
- ・農林水産業における生物多様性保全の総合戦略の策定

生態系ネットワーク構想  
流域圏を基軸として森林、農地、河川、海洋等を連続した空間として積極的に保全



未来に引き継ぐ里地里山

